

地域社会とのコミュニケーション

京阪・文化フォーラムの開催

沿線の文化振興のため、京阪・文化フォーラムを開催しています。テーマは、その年に話題となったものや、沿線の活性化につながるものを中心にしています。

平成21年度は3回開催し、大好評をいただきました。

第20回

古典落語と現代演劇のコミュニケーション
実施日:平成21年6月6日(土)
会場:天満天神繁昌亭

第21回 学問都市・なにわ

実施日:平成21年11月3日(祝・火)
会場:大阪大学中之島センター10階
佐治敬三メモリアルホール

第22回 坂本龍馬と幕末の京都

実施日:平成22年3月20日(土)
会場:京都教育文化センター



第22回 京阪・文化フォーラム

石坂線文化財号Ⅱの運行

大津線では、地域社会と連携した活動に積極的に取り組んでいます。

(財)滋賀県文化財保護協会とタイアップして、滋賀県内の歴史や文化財を知っていただくためのラッピングトレインを平成21年11月から約半年間運行しました。

琵琶湖湖底にある遺跡「粟津貝塚」の解説を車内に掲示することで、お客さまに滋賀県の文化財に興味を持っていただくきっかけとなりました。



石坂線文化財号Ⅱ

ハイキングの企画・実施

当社主催のハイキングは、年間約24回のスケジュールで開催していますが、そのほかにも駅長主催で計画・実施する「駅長おすすめハイク」があります。

この「駅長おすすめハイク」は、沿線イベント担当と協力しながらコースの設定を行っています。駅長をはじめ駅係員が入念に下見を行い、危険箇所や見どころ、昼食場所およびトイレの場所を確認し開催当日に備えます。

参加されるお客さまに安全に楽しんでいただけることを第一に考え、危険と思われる箇所に係員を配置するなど安全確保に努めています。



ハイキング

ステークホルダーダイアログの実施

「CSR報告書」はさまざまなステークホルダーとのコミュニケーションの1つと考えていますが、ステークホルダーが当社のCSR活動をどのように受け止めているか検証する必要があります。そこで、関西学院大学の学生の皆さまにご協力いただき、企業対学生との双方向の意見交換を実施しました。報告書に対するご意見や当社のこれからのCSR活動につながるご意見をいただきました。



ダイアログの様子

近代化産業遺産(びわこ号)

びわこ号は昭和9年、天満橋～浜大津間(京阪本線-京津線)を72分で走行する直通特急として建造され、日本最初の連節車です。2つの車体が接するところに1台

の台車をおいて、これによって両方の車体を支える仕組みになっています。屋根の上には二つの集電装置がありますが、京阪線ではパンタグラフを、京津線ではポールを使用しました。車体の扉は京阪線の高床用乗降口、京津線の路面用乗降口などの工夫を施しています。これらの技術により、日本の産業近代化に貢献したことを認められ、平成21年度に経済産業省の「近代化産業遺産」に認定されました。現在は、寝屋川車両基地に保存されています。



びわこ号

TOPICS

アートエリアB1

アートエリアB1が「メセナアワード2009 文化庁長官賞」を受賞

中之島線なにわ橋駅地下1階コンコースの「アートエリアB1」での取り組みが、社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナアワード2009 文化庁長官賞」を受賞しました。

「アートエリアB1」は、中之島エリアの文化・芸術・知の創造と交流の場として活用することで、「コミュニケーション空間としての駅」を提案していくことを目的とした施設として、現在は、大阪大学、NPO法人ダンスボックスなどと協力し、カフェトークやダンスパフォーマンス、インスタレーション(架設空間芸術)などさまざまな活動を展開しています。

今回の受賞においては、これらの取り組みが、芸術文化振興に高く貢献し、かつ地域活性化や次世代育成にも貢献していると評価されました。

とらやんの大冒険
～サヴァイバル・システム・トレイン～
水都大阪2009共催「中之島コミュニケーションカフェ」